

Seventeen 113号



撮影者 下村 正美 (立江町)



クイズ



3つの中から選んでください

写真は「ガントリークレーン」と呼ばれるものです。
徳島小松島港内の内、何地区に設置されているでしょうか。

- ① 赤石地区
- ② 金磯地区
- ③ 本港地区

応募資格
小松島市民の方、年齢制限はありません。

※答えを書いてはがきに住所・氏名・年齢・性別を記入。抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!
(当選者の発表は賞品の発送を以てかえさせていただきます。)

あて先
〒773-8501
小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局 宛
(締切日5月31日消印有効)

たくさんのご応募、ありがとうございました。

前回の答え ②しおかぜ公園

市の花である「花みずき」 花卉は和と発展を象徴しています。

目次

常任委員会報告(3月)	2~5
一般質問(3月定例会議)	6~13
賛否表・他	14~15
6月定例会議日程・他	16

議会抽出の平成29年度小松島市予算重要事業

議会基本条例第9条に基づき、主要事業のうち16事業を重要事業として抽出し、実施に伴う政策等の形成過程説明シートにより、質疑応答を行いました。そのうち、5事業を掲載します。

事業名	道路橋梁整備 交付金事業 (防災・安全整備計画)	内容	高度成長期以降に整備したインフラの高齢化が今後進み、また、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えた防災・減災対策の推進と、地域における総合的な生活空間の取り組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算に創設された国土交通省所管の地方公共団体向けの助成制度である。
予算額	2億3,600万円	目的	社会資本の点検に基づく老朽化対策や事前防災・減災対策の推進と地域における総合的な生活空間の確保に資する地域づくりを目的とする。
担当課	都市整備課		
事業名	日峯大神子広域公園 (脇谷地区) 整備事業	内容	国の社会資本整備総合交付金(都市公園・緑地等事業)を活用し、平成28年度に行った公園施設などの基本設計、地質調査や用地購入に必要な測量等により、本公園の用地取得および施設整備を行う。用地取得に関しては、市土地開発公社により、一括取得を行う。
予算額	3億2,590万円	目的	①多様な年齢層がスポーツやレクリエーションの場として交流・健康促進の場とする。 ②日常の憩いの場や様々なイベントの開催場所として、地域のにぎわい創出拠点とする。 ③防災拠点施設として発災時の一時避難所や発災後の復旧復興活動の拠点とする。 ④存在効果として、都市景観形成・自然環境保全など様々な調和効果と、地域文化や自然を活かした環境教育拠点とする。
担当課	まちづくり推進課		
事業名	認定こども園 運営事業	内容	就学前児童へ幼児教育・保育を提供するとともに、地域の事情や保護者のニーズに合った、全ての子育て家庭を対象とした子育て支援事業(子育て相談や親子の交流の場の提供など)を行うことにより、子育て支援の充実を図る。
予算額	3億9,185万6千円	目的	定員割れの幼稚園における人件費及び運営費等負担や集団生活で培う教育環境に欠ける問題等により、定員割れの幼稚園を閉園する状況において、既存の保育所(園)を認定こども園に移行することで、閉園地区における就学前児童の教育・保育施設を確保するとともに、更なる幼児教育と子育て支援の充実を図ることを目的とする。
担当課	児童福祉課		
事業名	障がい福祉 サービス事業	内容	福祉サービスの利用を希望する障がい者(児)が市へ申請を行い、聞き取りや収入状況の調査をした後、障がい支援区分認定審査会に諮り、各々の支援区分が決定され、相談支援事業所によるサービス利用計画案の作成を経て、各種障がい福祉サービスの支給量を決定する。
予算額	9億7,585万円	目的	各々の障がい者(児)に必要なとされる障害福祉サービスを提供することにより、障がい種別を問わず、障がい者が地域で安全で安心した生活を送れるようにすることを目的とする。
担当課	介護福祉課		
事業名	公民館整備事業	内容	耐震診断の結果による建物の耐震補強又は改築。 平成29年度は ① 櫛淵公民館の改築工事と和田島会館の改修工事を行う。 ② 小松島公民館と北小松島公民館の改築設計を行う。
予算額	1億1,504万円	目的	旧耐震基準で建設された公民館の耐震診断の結果により、耐震補強設計、改築設計及び、耐震補強工事、改築工事と作業を進め、早期に耐震化を完了させ、市民が安心安全で快適に利用できる施設とする。
担当課	生涯学習課		

常任委員会報告

予算決算常任委員会

出口 憲二郎 委員長

当初予算155億700万円、
過去2番目の大型予算となる

3月定例会議において付託された予算議案は、議案第3号から議案第11号までの9件、補正予算議案第33号から議案第38号までの6件の合計15件を審査のため、去る3月15日午前10時から、委員会を開会した。審査に当たっては、3月15日、16日、17日、21日には部局別審査として、議案及び平成29年度に本市が行う重要事業を含めた各課からの説明を受け、質疑を行い、22日には市長に対する総括質疑を実施した。

この間、当局に対し、審査に必要な参考書類の提出、補足説明を求め慎重審査を行った。

22日の採決では、議案第3号、議案第7号、議案第9号については、挙手採決の結果、挙手全員により、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

また、議案第4号から議案第6号まで、議案第8号、議案第10号、議案第11号、議案第33号から議案第38号までについては、採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

(なお、議案名については、14ページの賛否表を参照してください。)

事務事業評価に対する予算反映等改善書

議会の評価・意見 (H28・9月決算時)	行政からの予算反映等改善事項 (H29・3月予算)
客船入港歓迎事業 拡充 活性化につなげるため、クルーズ船が、年間を通じ寄港するように船舶会社、旅行会社にも積極的に事業拡充を働きかけるべきである。観光と物産振興のための周遊コースを取り入れ、本市での滞在時間が多くなるプランづくりが必要である。	本年度も、岸壁における歓迎行事の実施に加えて、市内観光及び買い物用としての周遊バスの運行を、また、誘致に向けた活動として「全国クルーズ船連絡協議会」への参加経費等も予定している。
総合整備計画・防災安全整備計画 (社会資本整備総合交付金) 拡充 津波避難路の整備、道路、橋梁工事等のインフラ整備は、安心安全な地域づくりのために必要性が高く、まず点検を行い、適切な計画を立て交付金を活用し、効率的に整備していく必要がある。	総合整備計画では、幹線元根井中筋線等の道路改良工事等、防災安全整備計画では、幹線月ノ輪金磯線の踏切改良、新居見3号線等の道路工事等、江田潜水橋の橋梁補修を引き続き実施し、交付金を有効活用し、地域住民の命と暮らしを守り、道路交通の円滑化及び交通環境を総合的・効率的な整備を図る。
社会福祉憲章条例事業 (民間移譲分・老人) 改善 高齢者の社会参加やひきこもり防止に役立っており、今後も必要な事業である。利用者の利便性の向上策として対象路線の拡充や、70歳未満の免許証自主返納者にも無料優待証の交付をするべきである。	平成27年度より対象路線を徳島バス路線(小松島↔徳島)にまで拡大しており、今後は、旧市営バス路線を中心としたダイヤ・路線の見直しや、徳島バス路線との乗り継ぎ利便性の向上、わかりやすいバスマップの作成等、利用者の利便性向上に努める。また、平成29年1月より、65歳以上の運転免許証自主返納者を対象に路線バスの運賃割引制度が開始されている。

安平 剛之委員長

米崎 賢治委員長

前川 英貴委員長

国民健康保険税5%値上げ

本委員会に付託された議案第12号から議案第19号までの8件を慎重審議した。活発な議論の結果、いずれも原案のとおり可決した。

●議案第12号 小松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

●議案第13号 小松島市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について

●議案第14号 小松島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

●議案第15号 小松島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

●議案第16号 小松島市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例について

●議案第17号 小松島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

●議案第18号 小松島市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例について

自転車等の放置の防止に関する条例の制定を可決

本委員会には、議案7件が付託され、審査の結果、いずれも原案のとおり可決した。また、報告1件について、詳細な説明を受けた。

●議案第20号 小松島市葬斎場条例の全部を改正する条例について

●議案第21号 小松島市自転車等の放置の防止に関する条例の制定について

●議案第22号 小松島市立保育所条例の一部を改正する条例について

中小企業・小規模企業振興基本条例を制定

本委員会には、議案6件が付託され、審査の結果、いずれも原案のとおり可決した。

●議案第26号 小松島市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について

●議案第27号 小松島市企業立地促進条例の一部を改正する条例について

●議案第28号 小松島市風致地区内における建築等の規制に関する条例

国民健康保険税5%値上げ

本委員会に提出された書類等の閲覧又は写しの交付に係る手数料を改めるもの。

●議案第29号 小松島市水道事業給水条例の一部を改正する条例について

●議案第30号 小松島市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例について

●議案第31号 新たに生じた土地の確認及び字の区域の設定については、公有水面埋め立てにより新たに生じた土地について、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

●議案第32号 市道の路線の認定については、

●議案第19号 小松島市消防手数料条例の一部を改正する条例については、火災に係る罹災証明書書の交付手数料を改めるもの。

●議案第25号 小松島市立学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例については、幼稚園再編方針に基づき、認定こども園の開設状況を踏まえて平成29年度より5つの園が廃止となるため、関係規定を定めるもの。

●議案第30号 小松島市葬斎場の指定管理者の指定については、新葬斎場の指定管理者について、議会の議決を求めるもの。

●報告第1号 平成28年度（平成27年度対象）教育委員会の点検・評価報告については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定によ



ふるさと納税返礼品（雪花菜アイス）

きないため、導入できなかった経緯がある。今後の検討課題としたい。

●宮崎 葬斎場の指定管理者が遠い富山県の業者に決まったということだが、徳島県の業者はいなかったのか。

●武田 小松島佐那河内線の児安小学校の近くの歩道整備を県が舗装まで仕上げた後、市の水道課が土を掘り返し、水道管を敷設しているが、なぜ同時に工事ができなかったのか。

●高木 持ち家を火事で被災した場合、市としての住居の対応は、緊急措置的に3カ月間だけはあるが、入居を認めている。正式な入居ではなく、3カ月すれば必ず次の住所に移転をしていただくというような規程で対応させて頂いている。



「こまポン」

市政 Q&A

一般質問・発言要旨

質問者名	件名
吉見 勝之	市長の移動手段について
	被生活保護者の就労支援について
	国民年金について
松下 大生	家庭ごみ収集について
	平成 29 年市長所信表明について
	公共施設について
北野 恒男	市財政について
	ICT等の活用について
	新年度予算編成について
池 淵 彰	広域ごみ処理施設について
	四国横断自動車道について
	日峯大神子広域公園、脇谷地区整備事業について
高木 幸次	行政組織体制の見直しについて
	広域ごみ処理施設問題について
	市長の政治姿勢について
武田 清	老人いこいの家について
	四国横断自動車道について
	芝生川の治水対策について
	県道小松島・佐那河内線歩道整備にかかる取り組み状況について
安平 剛之	ジャンボタニシの対策について
	国民健康保険特別会計の今後について
	市営グラウンドの使用について
四宮 祐司	公共施設等総合管理計画について
	川南地区下水（雨水）対策について
	濱田市政二期目の取り組みについて
米崎 賢治	火災予防について
	国民健康保険税改正について
	ごみ処理施設について
出口 憲二郎	本市の人口増加の施策について
	登下校等の安全について
	災害対策について
出口 憲二郎	市長の所信表明について
	公民館整備事業について
	葬斎場使用料の値上げについて
出口 憲二郎	文書ファイル紛失事件について

地区別ごみカレンダーの周知は

やまももクラブ 吉見 勝之 議員

答 広報に記載、郵便局などに協力を頂き、配布を検討する



吉見 市ホームページに地区別ごみカレンダーとして北部3地区、南部3地区の6地区のごみカレンダーが掲載されている。個人としてダウンロード、印刷すれば色分けされており、現在配布されている収集日地区割り表よりかなり見やすいものである。今後どのように周知していくのか。

生活保護者の就労支援は

吉見 生活保護の受付と就労斡旋の窓口を接近させ、まずハローワークへ連れて行くよう厚生労働省が推進するという新聞記事があった。本市の就労支援は。

生活福祉課長 生活保護支給日にハローワーク相談コーナーを設け相談を実施。今年度は11月末日現在で、自立者が12名、生活保護は継続しているが就労者28名達成した。

国民年金加入のメリットは

吉見 国民年金保険料の納付年数が25年から10年となった。加入手続きの通知と未納者への対策は。

健康増進課長 国民年金加入の通知は日本年金機構から送付され、原則本人からの申請によるものとされている。未納者への対策として、機構が委託した民間事業者により保険料納付の案内や制度説明の電話訪問や文書発送、収納事業を行っている。小松島市役所と徳島南年金事務所との連携による勧奨通知の送付や相談会を実施している。

吉見 国民年金のメリットは。

健康増進課長 保険料を納める事で、老後の生活保障はもちろん、万が一病気やけがで障害が残ったとき、一家の働き手が亡くなったときなど、自分自身や家族を守ってくれる制度がある。

家庭ごみ収集日程表

日	月	火	水	木	金	土
1	可燃	廃プラ	休み	休み	休み	
7	可燃	びん	ペット	可燃	新聞	
14	可燃	廃プラ	金属	可燃	びん	
21	可燃	雑誌	ペット	可燃	廃プラ	
28	可燃	びん	金属			

平成 29 年 5 月ごみカレンダー

南部第 3 地区



市長の思い描く小松島の方向性・将来像とは

創生クラブ 松下 大生 議員

答 経済性や効率性を踏まえたコンパクトなまちを目指す



松下 昔の小松島は港を中心とした港湾都市で栄え、多数の交流人口があり、人口以上の経済規模だった。しかし、今はフェリー航路の廃止、さらに全国の他の地方同様、少子高齢化、人口減少によりまちに活気がなくなってきた。市長の思い描く小松島の方向性・将来像とは。

市長 将来の人口減少などを見据え、経済性や効率性を踏まえたコンパクトなまちづくりの視点が今後の自治体経営に求められている。市税や地方交付税が減少基調で推移することを念頭に、将来に向けた自治体運営の合理化を図り、市民サービスの安定的に維持していくまちづくりを目指す。

公共施設の更新は

松下 本市の公共施設は、高度成長期に建設された施設が多く、施設の老朽化、少子高齢化、人口減少など時代に合わせ将来を見据えた施設の統廃合、廃止、更新が今後必要になってくるが、どのような計画をもって進めていくのか。

総務課長 公共施設等総合管理計画では、公共施設等の管理の基本方針を定めており、今後、施設所管課において、施設種別、あるいは施設ごとに施設の利用需要の変化や利用状況等を勘案し、統廃合等、あり方の検討を行った上、個別施設計画を策定していく。

市長 重要視する施策としては、防災減災対策の雨水浸水対策を初め、住

活力の利用が重要になってくるところである。このたびの公共施設等総合管理計画の中でも、検討のことがだが、どの分野・施設を対象にしていくなか。

総務課長 現段階で統廃合等の計画は、小学校、幼稚園及び保育園、保育所、公営住宅等である。そのほかの施設は、今後、検討していくが、用途が似ている施設や用途は違うものの隣接している施設については、更新に際して統廃合や複合化等について検討する必要がある。民間活力の導入についてもそれぞれ検討が必要となると考える。



統廃合される芝田幼稚園

新年度予算155億700万円の重点施策は

やまもくクラブ 北野 恒男 議員

答 小松島南部地区都市再生整備・日峯大神子広域公園整備、子どもはぐくみ医療費助成事業などである



北野 当初予算額、前年比0.5%、額にして8000万円増の155億700万円である。平成29年度からの小松島市第6次総合計画で掲げる「未来輝く希望と信頼のまち小松島」の実現に向け、濱田市政2期目の重点施策は。

政策監 新たな取り組みとして、小松島南部地区都市再生整備事業で地域活性化の拠点施設や立江榊地区への地域活性化インターチェンジの設置に向けた基本計画策定がある。継続的な取り組み

として、本庁舎耐震化、公民館更新、防衛施設周辺洪水対策、日峯大神子広域公園整備事業、避難道路となる市道幹線ノ輪金磯線の拡幅整備や、少子化子育て支援策では子どもはぐくみ医療費助成事業の対象年齢を中学校卒業まで拡大するほか、新生児の聴覚検査にかかる自己負担額への助成など、安心して子育てがしやすいまちづくりの環境整備に向けた取り組みがある。

北野 平成27年度議会抽出の15事業に係る議会評価報告について、新年度予算へどのように反映したのか。

財政課長 当初予算に反映した主な事業として、社会資本整備総合交付金を活用した津波等災害発生時の避難道路の拡幅整備、幹線等の道路改良行事などのインフラの点検や老朽化対策、地方創生推進交付金を活用した観光パンフレットの作成、「観光・イベント振興事業」などがある。

立江、榊地区「地域活性化」インターチェンジ設置への状況は

創明会 池瀧 彰 議員

答 新年度から設置実現に向け検証を行う



池瀧 四国横断自動車道、阿南小松島間、今後の完成目途は。

まちづくり推進課長 新直轄区間では徳島東・津田間が、平成32年度に開通するとの発表がなされ、南へ向けてさらなる開通見通しが期待されている。引き続き1日も早い供用に向け、取り組む。

池瀧 国土交通省から地元事業者への発注機会を与えて頂くよう、要望活動をすべきだ。

産業建設部長 国において当然競争入札の原則を踏まえ、機会均等、経済性を確保した上で発注していることから、本市

から国に対して要望は考えていない。

池瀧 立江、榊地区「地域活性化」インターチェンジ設置に向けての状況は。

まちづくり推進課長 設置実現に向け、新年度から構造検討を始め、交通量の推計や費用対効果の検証など、高速自動車国道法に基づく連結強化に向けた作業に着手する。

池瀧 この「地域活性化」を図る中で、企業立地、雇用促進、渋滞緩和と具体的に施策をどのように考えていくのか。

まちづくり推進課長 立江榊地区への新しい

サービスや個性豊かで多様な価値の提供などが期待される地域活性化の拠点施設を初め、インターチェンジ設置に向けた取り組みなど、高速道路を活用した新たな価値の創造の実現を目指す「小松島南部地区都市再生整備事業」に取り組む。

日峯大神子広域公園、協谷地区施設整備は

池瀧 広域公園内の野球場の積極的な活用ができる工夫は。

まちづくり推進課長 徳島県内では14カ所の野球場が整備されており、こ

広域ごみ処理施設の説明会を

北野 徳島市では、地元説明会を現在まで5回開催している。本市においても建設候補地に隣接しており、近隣住民に説明する必要があると思うが開催する計画は。

市民生活課長 本市としても、候補地に近接した地域があることから、説明会開催への協力をいただきたい旨を徳島市に申し入れ、協議を行っているところである。



現在稼働中のごみ処理施設

広域ごみ処理施設、なぜ小松島市で説明会をしないのか

大互クラブ 高木 幸次 議員

答 開催について、徳島市に協議を申し入れている



高木 広域ごみ処理施設について、なぜ小松島市で説明会をしないのか。

市民生活課長 説明会開催については事業主体である徳島市に協議を申し入れているところである。

高木 広域ごみ処理施設、建設場所を見直す考えはないのか。

市長 候補地は最終的に

最も適しているとの評価結果を踏まえ、6市町首長で協議し、候補地とされたものであり、本市で見直すことはない。

高木 小松島市の水道水に与える影響はないのか。

水道部長 本市の水源である地下水に直接影響を与える開発が行われるこ

とがないと考えている。

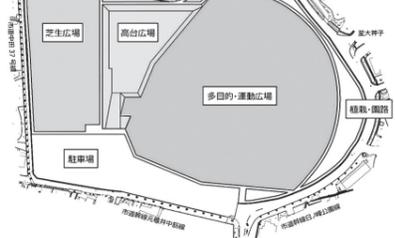
高木 農業または漁業に与える環境汚染はないか。

市民生活課長 このたびの施設は処理後、場内で循環利用する施設になり、排水には影響がない方針がとられると考えている。

高木 大阪府豊中市、岸

のうち公認野球規則に示す硬式規格は2球場だけである。四国内における硬式規格野球場整備に対する要望が非常に多くある。特に需要の多い年間約600に及ぶ高校野球の練習試合を初め、県高等学校総合体育大会や県高等学校新人大会、さら

には硬式大学野球や硬式社会人野球等の誘致が可能となる、一般競技対応の硬式規格の野球場として整備する方針で進めたい。



協谷地区整備計画(空間構成)

市長の政治姿勢は

高木 市長と議員の関係について、市長の認識は。

市長 それぞれ、立場は違うが、市民のために市政の発展推進に尽くす点では一致していると認識している。

高木 市長と議会は、小松島市民の生活や福祉増進のために汗をかくことが大切だと考えているが、市長の考えは。

市長 市長と議員、ここでは行政と議会とそれぞれ

の立場において、自治体における円滑な市政の推進のため、それぞれの役割を適切に果たしてい

高木 市長の立場として、議会との一定の距離を置くような考えはあるか。

市長 行政の長として、議会との一定の距離を保ち行政運営をしたいと考えている。

高木 2期目がスタートしたが、このたびの市長選は無投票再選であったため、小松島市での市政報告会を開催する考えはあるか。

市長 時期を見ながら、皆さんの意見を聞き、検討していきたい。

児安小学校前の歩道整備の着手時期は

新生クラブ 武田 清 議員

答 運動会等の学校行事に配慮し、事業主体である県と調整する

武田 児安小学校前の歩道整備、グラウンド整備も含め、いつごろ、どのように着手するのか。

教育政策課長 県道拡幅工事との関係もあり、秋ごろ開催される運動会等の学校行事にも配慮し、詳細についてはこれから調整してまいります。

武田 学校前正門から児童と車が入り出して危険である。東側に車が通れる門を造ってはと提案しているがどうするのか。

教育政策課長 学校現場からも同様の要望があり、十分尊重して具体的な設計をする。

武田 児安学童保育クラブが歩道にかかるが、どこへ行くのか。



児安小学校前歩道

児童福祉課長 休園となる児安幼稚園に移る。

で、耐震化または建て替えるとの答弁を頂いているが、実施時期は。

市民生活課長 個別施設計画を平成32年度までに策定する。

神田瀬川・芝生川の草や土砂は

武田 新居見周辺の川は、大量の草や土砂が堆積し、川の流れを阻害しているが、何か対策は。

まちづくり推進課長 土砂が堆積し、治水機能の低下が危惧される。川を管理する県と連携して維持管理を進める。

武田 新居見老人いこいの家の耐震化は

昨年6月定例会議

四国横断自動車道の川に架ける道路橋は

武田 高速道路の側道で、神田瀬川に架ける道路橋（新居見・田浦間）についての取り組みは。

まちづくり推進課長 市道田浦43号線として、平成29年1月から用地取得・工事に向けた取り組みを進める。

ジャンボタニシの駆除対策は

武田 農家の方はジャンボタニシの被害で困っている。良い対策はないか。

産業振興課長 農薬散布や耕運機等で目を地表に出し凍死させたり、破壊させる方法がある。最近では、国の多面的機能支払交付金を活用して取り組んでいる。

濱田市政の2期目の課題は

公明党 四宮 祐司 議員

答 長期的な財政見通しに立った予算編成が重要

四宮 1期目4年間を終え、濱田市長2期目としての課題は。

えた小学校再編計画の見直しなどがある。

防災減災対策について

四宮 ハード面でのインフラ整備も重要な防災、減災事業であるが、その一方でソフト事業として、人の気持ちに訴え「逃げる、備える」という意

識を根ざしていくための今後の事業は。

危機管理課 防災意識の向上を目的として、市総合防災訓練、防災出前講座、また自主防災組織結成率の向上に向けた取り組みとして、研修会を実施し自主防災組織の重要性を再認識いただいた。



国民健康保険の今後の対応は

みらい政策クラブ 安平 剛之 議員

答 県が財政運営の責任主体となる

安平 国民健康保険特別会計の平成28年度予測額は約1億6100万円。赤字を見込んでいます。赤字分は国保基金を1億7000万円ほど取り崩し、基金残高は約4200万円となる。

健康増進課長 平成28年度は約1億6100万円。底をつくから5%値上げをするということか。平成30年から県が主体となるようだが、どうなるのか。

健康増進課長 平成30年度からは、県が県全体に必要な医療費を市町村に対し、医療費水準や所得等の状況などで計算した

金額を示し、市町村は県に示された納付金を支払うことになる。そして県は納付金の額とともに保険料について標準保険料率という形で示すことになる。

安平 もしその年に病気が流行り、医療費が高くなる場合は。

健康増進課長 県が財政運営の責任主体であるので全額県が責任を取ることになる。ただ翌年度あたりでその分も追加された納付金を示される。

市営グラウンドの使用について

安平 2月16日開催の平成29年度グラウンド使用

重要な事業であり、進める必要がある。4月1日をもって休止とする。

安平 公民館も使えない金長まつりも中止するのか。

市長 テニス、野球等の施設は、使用禁止ということである。

安平 公民館、広場や金

長神社は使っても構わないのか。



市長 工事に係る5月末ぐらいから全面使用禁止になる。

住宅用火災警報器等の設置について

四宮 既存住宅でも住宅用火災警報器の設置が義務化されているが設置普及率は全国81.2%となっている。本市の設置の現状は。

消防本部 平成28年5月の調査で72%、一昨年の同調査では63.6%で、4%上昇している。

四宮 隣の家の警報器が鳴っているのに気づいた人が119番通報して大事に至らなかったケースもある。積極的な広報活動をお願いする。

火災警報器で助かる命があります。

住宅用火災警報器

平成23年6月1日設置義務化

ご家族や財産を守るために
※設置義務化の対象となる住宅は、平成23年6月1日以前に建築されたもので、延焼防止機能のある住宅です。設置義務化の対象となる住宅は、平成23年6月1日以前に建築されたもので、延焼防止機能のある住宅です。設置義務化の対象となる住宅は、平成23年6月1日以前に建築されたもので、延焼防止機能のある住宅です。

対象になる住宅
すでに設置されている方へ
必ず設置してください。

小松島市消防本部
Komatsushima Fire department
TEL 0885-32-0119

既存ごみ処理施設の現状と今後の整備方針は

四宮 現在、協議中である広域ごみ処理施設については地元合意を得てから、建設稼働まで9年を要することを踏まえ、本市の既存ごみ処理施設の現状と今後の整備方針は。

衛生センター所長 本市のごみ処理施設は、昭和58年3月竣工後、33年が経過しており、平成11年、12年に更新した多くの機器類も更新から17年を経過している。適正な施設運営のため、毎年計画的に整備を行い、法定検査や点検、整備更新工事を行うことで安全な稼働ができています。

消防用ドローンを導入しては

新風はなみずき 米崎 賢治 議員

答 消防本部も含め導入の実現に向けて調査研究する



米崎 消防団の教育訓練の実施状況は。

消防課長 規律訓練や火災防訓練の参加、遠距離中継訓練や津波、地震を想定した非常招集訓練など、実践的な訓練を実施している。

米崎 ドローンを消防団に配備しては。

消防課長 まずはドローンに関する講習会に参加するなど、知識や基本操作の習得に向けた取り組みを実施するとともに、先進自治体の活用、運用方法を参考に、常備も含め導入の実現に向けて調査研究する。

米崎 ドローン活用の有効性について。

消防課長 消防活動用ドローンは、災害現場において短時間に多様な情報の収集を行うことが期待でき、建物やインフラの被害状況の調査や土砂災害で2次被害の恐れがある箇所の警戒、監視など発災時の偵察活動用資機材として非常に有効なツールの1つである。



他自治体で利用されている消防用ドローン

米崎 人口増加に向けた取り組みは。

米崎 人口減少抑止に向けた取り組みは。

米崎 認知症高齢者への見守りにつながる取り組みとして、靴（GPS付）の購入補助を行っては。

米崎 人口増加に向けた本市の考え方は。

米崎 人口増加に向けた本市の考え方は。

米崎 人口増加に向けた本市の考え方は。特に若い世代の場合は自然増にも寄与するものと考えている。

米崎 人口減少抑止に向けた取り組みは。

米崎 人口減少抑止に向けた取り組みは。

米崎 人口減少抑止に向けた取り組みは。

米崎 人口増加に向けた本市の考え方は。

米崎 人口増加に向けた本市の考え方は。

米崎 人口増加に向けた本市の考え方は。

持続可能な行財政運営ができるのか

新生クラブ 出口 憲二郎 議員

答 行財政改革に取り組んでいきたい



出口 市長の政治理念である「住んでよかった小松島」実現のために、平成29年度も多くの大型施策が予算化されようとしているが、その財政上の確証と裏打ちは。

出口 新葬斎場の使用料を、1万2千円から1万5千円に値上げする理由は何か。

出口 新耐震基準施行以前の建築である7公民館の耐震化計画は。

出口 市債残高が見込みで178億8千万円と、財政非常事態宣言中だった平成21年度とほぼ同額となっている、これについての見解を聞きたい。

出口 新葬斎場の使用料を、1万2千円から1万5千円に値上げする理由は何か。

出口 新耐震基準施行以前の建築である7公民館の耐震化計画は。

出口 新葬斎場の使用料を、1万2千円から1万5千円に値上げする理由は何か。

出口 新葬斎場の使用料を、1万2千円から1万5千円に値上げする理由は何か。

出口 新耐震基準施行以前の建築である7公民館の耐震化計画は。

出口 新葬斎場の使用料を、1万2千円から1万5千円に値上げする理由は何か。

出口 新葬斎場の使用料を、1万2千円から1万5千円に値上げする理由は何か。

出口 新耐震基準施行以前の建築である7公民館の耐震化計画は。

出口 新葬斎場の使用料を、1万2千円から1万5千円に値上げする理由は何か。

出口 新葬斎場の使用料を、1万2千円から1万5千円に値上げする理由は何か。

出口 新耐震基準施行以前の建築である7公民館の耐震化計画は。



公民館となる北小松島幼稚園

出口 昨年12月定例会で発覚した公文書ファイル紛失事件の調査の経過と結果について聞きたい。

平成29年 第1回臨時会議を開催

平成29年2月22日に開催された第1回臨時会議に、議案2件が上程された

上程された議案

第1号議案 工事請負契約の変更について（小松島市葬斎場建設事業のうち葬斎場整備工事）

第2号議案 平成28年度一般会計補正予算（第3号）

<議案説明>

第1号議案 葬斎場整備工事が年度内完成が困難となったため、平成29年5月31日まで工期を延伸するもの

第2号議案 川南排水機場のエンジンを早急に修繕するもの

<主な質疑>

安平議員 ・工事請負契約の変更について

・平成28年度小松島市一般会計補正予算（第3号）について

池淵議員 ・工事請負契約の変更について

議案は予算決算常任委員会に付託され、同委員会で慎重審査の結果、原案のとおり可決した。その後、本会議において表決を行い賛成多数により可決になった。



仕上げの工事が進む新葬斎場

・平成29年2月15日(水)
・2月16日(木)
調査項目
・議会改革について
・議会モニター制度について
委員 佐野善作
副委員長 出口憲二郎
委員 武田 清、
北野恒男、井村保裕、
廣田和三
議員 米崎賢治
古賀市議会 政策推進会
議を核に議員が政策課題
をプレゼンテーションで
発表し、議会による政策
提言の充実が図られてい
た。また、災害時の議会
対応要綱及び災害発生時
の議員行動マニュアルの
策定がされており、本市
議会も南海・東南海地震
や近年の異常気象による
災害発生時に備えるた
め、参考とすべきである。

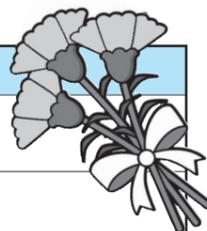


防府市議会 議会モニ
ター通信により、意見募
集しており、モニター
経験者から市議会議員に
なった方もいる。また、
議会懇談会として、市民
団体と議員が意見交換す
るなど、市民の意見反映
や議会活性化への取り組
みが行われていた。

議会運営委員会視察報告

視察来市 (平成28年度下半期 10月～3月)

来市先議会	日時	視察内容
千葉県 鴨川市議会	10月20日	タブレット端末について
山形県 寒河江市議会	11月1日	小松島市営バス路線の移譲について
青森県 五所川原市議会	11月10日	議会改革について
香川県 三豊市議会	1月24日	通年議会について・事務事業評価について ・タブレット端末について
千葉県 木更津市議会	1月25日	議会改革について・反問権について ・タブレット端末について
京都府 綾部市議会	1月31日	議会改革について・通年議会・定数削減・自由討議
茨城県 常陸大宮市議会	2月8日	議会改革の取り組みについて・タブレット端末の導入 ・通年会期制の導入



議会情報公開制度による開示状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)
昨年度の議会情報公開制度の実施状況を報告します。
昨年度は、開示請求は9件でした。
情報開示請求の方法などのお問い合わせは
議会事務局 (☎32・1359)まで

クイズの感想やコメントから抜粋

(112号応募より)
・いつも孫を連れてしおかぜ公園に遊びに行っています。(50代・女性)
・小松島市も医療費助成が12歳から15歳に引き上げになり、子どもがいる私にはとても嬉しいことでした。もっと子育て世代が住みやすい地域になりますように。(30代・女性)
今後もクイズへのご応募を、よろしくお願いいたします。

議員の賛否表 (平成29年3月定例会議)

議案等	議員名 (議席番号順)															
	松下大生	四宮祐司	高木幸次	米崎賢治	池淵彰	片田真弓	杉本勝	前川英貴	廣田和三	北野恒男	吉見勝之	武田清	出口憲二郎	安平剛之	佐野善作	宮崎欽司
第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長(井村保裕)は、採決には加わりません。

平成29年6月 定例会議 日程

全ての会議、委員会で傍聴できます。

月 日	曜	開議時刻	議 事	月 日	曜	開議時刻	議 事
6月9日	金	午前10時	開 会（議案提出）	6月19日	月	午前10時	文教厚生常任委員会
6月13日	火	午前10時	質 疑・一般質問	6月20日	火	午前10時	産業建設常任委員会
6月14日	水	午前10時	質 疑・一般質問	6月21日	水	午前10時	予算決算常任委員会
6月16日	金	午前10時	総務常任委員会	6月23日	金	午前10時	議 決・散 会

ふれあい市議会コンサート

3月8日、定例会議一般質問初日に本会議場において「アルモニカバンド」の皆さんに出演いただきました。思わず口ずさむ様な童謡、唱歌や懐かしい歌謡曲をハーモニカアンサンブルにより演奏していただきました。

市議会では各定例会議における出演者を募集しています。

出演のお問い合わせは、
小松島市議会事務局 ☎ 32-1359 まで



発行／小松島市議会 議長 井村保裕

大募集!!

「議会だより」表紙写真



1. テーマ 議会だより表紙にふさわしい、とっておきの一コマ
2. 応募資格 市内在住・在勤・在学の方
3. 応募方法 応募用紙に必要事項をご記入の上、写真（A4サイズ）を添え、市役所2階、議会事務局までご提出ください。
4. 応募規定 応募作品については本人が撮影した未発表のものに限ります。被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上でご応募ください。
5. 応募締切 7月10日 必着（8月5日発行号）
6. 応募先 〒773-8501 小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局
7. 問い合わせ先 小松島市議会事務局 ☎ 32-1359

編集／議会広報特別委員会 委員長 出口憲二郎

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
松	四	廣	片	吉	佐	前	出
下	宮	田	田	見	野	川	口
大	祐	和	真	勝	善	英	憲
生	司	三	弓	之	作	貴	二
							郎

編集委員

編集委員 松下 大生

この議会の動きを分かりやすく皆様にお伝えしていくためにも議会として広報誌を発行いたしました。皆様の手にとって読んでいただき、関心を持っていただける紙面づくりに主眼をおき広報委員一同、編集作業に取り組んでおります。今後に於いても、市民の皆様と議会、市政の情報を発信して参ります。

編集後記

夏の足音がもうすぐそこまで近づいているこの頃、今年度、最初の議会広報誌をお届けします。3月定例会議において、平成29年度の当初予算案並びに条例案を審議の上、可決いたしました。